

なぜ今、ESGが必要なのか？

～ESG投資②～

「投資INSIDE-OUT」～ESG投資～では、ESGとは何か？なぜ今ESGが必要なのかを探っていきます。

持続的成長のために企業ができたこと

運用の世界でESGという概念が急に広がりましたが、その背景について考えてみます。

最近、日本でも豪雨や猛暑といった異常気象が多発しています。その原因として



二酸化炭素の排出

開発による自然破壊



などが挙げられています。

企業が自社の利益を追求する上で、二酸化炭素を大量に排出したり、自然環境を考慮せずに森林を伐採して原材料を調達することなどで地球環境が破壊され、そのツケが回ってきているのではないかと、とも言われています。

同じような商品を生産している2つの会社があるとします。

- ①多少コストがかかるが、調達過程の見える材料を使い、製造工程でも環境や従業員に配慮し、店舗で販売するまでサプライチェーン全体を管理できている会社
- ②コストを極限まで下げようと、どのように作られたかは関係なく、とにかく安い材料を調達し、製造現場では従業員に無理な労働を強いて販売条件の良い店舗にしか供給しない会社



①と②では、どちらの会社の中長期的な成長余地がある、または問題が発生するリスクが小さいでしょうか。

これまでは、空気や水をはじめ、企業が事業を続ける上で必要とする様々な経営資源は、いつでも調達できると考えられてきました。最近では、それらがすべて「有限」であり、いつか枯渇する、また非常に高いコストが必要になり得る、ということを前提とした事業計画が必要となっています。

まさに「ゲームチェンジ」が起こっている真っ最中です。

長期投資を行う観点から、自社を取り巻く環境のリスクを認識して対応を始めている企業と、まだその重要性に気付いていない企業を見極めることも重要になりそうです。(令希)



【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。